

さんくす

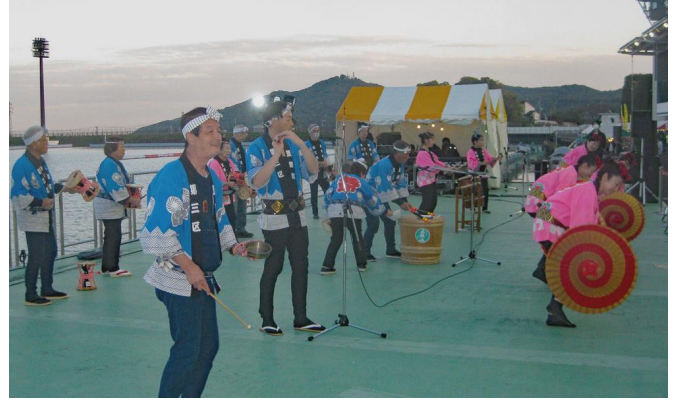
3年ぶりの笠懸まつりに花を添える八木節

11月5日(土)、これまでの総合グラウンドからボートレース桐生に会場会場を移して、3年振りに笠懸まつりが開催されました。

祭りは、競艇場の南ウイングの東貯水池の岸に水上ステージを作り、その左右に売店用テントを岸に沿うように並べる形で張っていました。

ステージでは笠懸音頭の後に、いくつかの行政区から八木節の演奏者が出て行われ、笠懸第三区は2番目でした。

会場は総合グラウンドからボートレース桐生へ、開催時期は8月から11月へと、大きくさまがわりした祭りでしたが、八木節は一旦始めてしまえば後はいつもどおりに演奏できました。また、三区の八木節では4人の踊り手が傘踊りなどを披露するなど八木節を盛り上げ、笠懸まつりに花を添えました(写真)。



コロナウイルス感染症の影響もあって、子ども八木節の練習ができなかったことから子どもたちの出演がありませんでした。また、踊りパレードなど区民が参加するプログラムはほとんどありませんでしたが、それでも7000人を超える来場者で賑わいました。

阿左美アンダー舗装工事完了



早期供用開始が望まれている阿左美アンダーの歩道部分の舗装工事が11月4日に行われ、11月末から利用が可能になりました(写真左)。

車道部分については、線路南のガードレールを移動するなどして、車両の待機スペースを確保しましたが、信号の設置になお時間を要することから、供用開始は12月末頃になる予定です。

阿左美アンダーは5月頃の完成を予定していたことからおよそ半年遅れての供用開始になります。

歩道橋に関しては、当初県道をまたぐ部分を先行して供用開始する予定でしたが、工事中の利用は危険が伴うことから、現在は3月末の供用開始を目指して線路南の橋脚の基礎工事を急ピッチで進めています。



散歩道 (22) むまみばし

太田大間々線(県道78号線)がJR両毛線にかかる陸橋がむまみばしです。交通量の増加や橋の老朽化などで架け替えられ、現在のものは昭和54年3月に完成しています。1945年頃の古地図を見ると橋はなく、県道は現在の西側を迂回していたようです(左図・今昔マップ)。



名前の由来は諸説あるようですが、「阿左美沼を望むことができたから」という説に説得力が

あります。しかし、現在では桐生公設市場や一般住宅が建ち並び、阿左美沼を望むことはできません。



むまみばしは国道50号線の岩宿交差点と北側の旧50号の交差点までの距離が200メートルほどしかないため、朝・夕や週末には渋滞のポイントにもなっています(写真)。

笠懸祭り終了後 スポーツゴミ拾い大会実施

令和4年11月5日(土)に笠懸祭りがボートレース桐生にて実施されましたが、翌日に群馬県で初開催となるスポーツゴミ拾い大会が開催されました(写真)。

清掃場所はボートレース桐生周辺の駐車場一帯です。午前9時からの開会式には須藤市長も激励に来られました。

競技は1チーム5名でのチーム戦で行われました。燃えるゴミ、燃えないゴミ、ビン・缶、ペットボトル、タバコの吸い殻に分離してゴミ拾いを行い、競技時間が終了した時点で各チームの回収ゴミの重量を測定、規定のポイント換算を行い最多ポイント獲得チームの優勝となります。

18チーム参加した栄えある第1回の優勝チームは第八区チームでした。因みに優勝チームの回収ゴミ重量は15.11Kgです。



笠懸町福祉部研修会で狭山市へ

令和4年11月1日(禍)に笠懸町福祉部主催の研修会が実施されました。今回は埼玉県狭山市の「きのえね坂の家」を訪問しました。

きのえね坂の家は、みんなが集う地域の居場所として2018年8月に開設された第2層協議体です。

具体的には住民相談、世代間交流、趣味の催し、子どもの居場所、クリスマスイルミネーションなどを地域住民が楽しみながら行っています(写真)。

開設以来、様々な改善、工夫を積み重ねて5年間継続していることに、研修参加者全員が大きな驚きを感じていました。このような他地域との交流会も知見を広める上で非常に有用だと思われ、今後の研修会活動に期待したいです。



令和4年度敬老祝賀行事について

コロナウイルス感染拡大防止の観点から、今年度も昨年度に続き敬老祝賀行事は中止となりましたが、昨年同様に第三区在住の満80歳以上の方199名にフレッセイ商品券と焼き菓子を記念品としてお届けしました。なお、85歳以上の一人暮らしの方へのおせち料理を12月末にお届けする予定です。

笠懸町子ども会 上毛かるた大会

子ども会の上毛かるた大会については、この2年間コロナ禍のため中止していましたが、今年度は笠懸町の大会が2023年1月15日(日)に笠懸公民館で開催されることになりました。

大会に向けて、11月25日(金)から三区公民館で練習を開始しています。

大会は個人戦と団体戦があり、練習に参加していれば全員が出場できます。途中からの参加でも大歓迎ですので、歴史を学ぶ機会として上毛かるたに参加してみませんか！

練習日：毎週火・金曜日(年末年始を除く)、練習時間：19時から20時まで。練習場所：三区公民館、参加対象：小学生(1年生から6年生)。

参加を希望される方は、保護者の方の送迎で練習日に直接お越しください。

三区子ども育成会お楽しみイベント開催

11月13日(日)、笠懸町第三区子ども育成会主催による、お楽しみイベントが三区公民館で開催されました。

これは、今年度も中止になった三区納涼祭をかわきりに、例年開催されていた三区子どもまつりができませんでした。その代替行事として、育成会役員の定例会議で「何か子ども達を楽しめることを目に見える形で開催しよう」と提案され、育成会役員の中から企画担当者として選出された8名が中心となり準備を進めてきました。

代替行事として何をすれば良いか企画担当者で話し合いを重ね、来年度は三区子どもまつりが開催できるこ

とを期待して内容を決定しました。

お楽しみイベントの内容は、ゲームコーナーとして三区子どもまつりに類似した輪投げ、ストラックアウト、バスケットビンゴ

の3種類、工作としてスライムとブレスレットを各自で作りました。イベントのフィナーレには、沢入国際サーカスを招いて大道芸を楽しみました。当日は、低学年以下と高学年以上の時間差入場とした工夫も考慮されていました。イベントの帰りには、お弁当とラムネ、おたのしみ景品も配布されて、参加した子どもたちの喜ぶ姿が多く見られました(写真)。



高齢者大学 講演会に参加して

8月12日(金)に笠懸野文化ホールで高齢者大学の第1回目の講義が開催されました。高齢者大学は全8回の講義等が計画されています。

第1回目は元岩宿博物館学芸員の国井洋子氏による「岡登用水と銅街道～今日の笠懸の礎について～」というタイトルで講演会が開催されました。

岡登景義公が作った岡登用水と銅街道は、今日の笠懸の礎になっています。講演の冒頭、NHKの番組で足尾銅山から運ばれた「銅の道」が映像で紹介されました。また、岡登景義公、足尾銅山、岡登用水の開拓とそ

の歴史、背景などが紹介されました。講話の中では過去の文献から、国井洋子氏が発見した「岡登景義



翁は米が取れない久宮の地域からは年貢、いまでいう税金の取り立てはしていなかった。」というエピソードと共に、岡登景義公の人柄を紹介していました。阿左美沼は、三俣分岐からの岡登用水路を流れてくる水を貯留し、阿左美沼周辺の水田はその水を利用しています。

地元野菜生産者をたずねて

ホウレンソウの周年栽培をしている武井正樹さん(写真)取材しました。早朝から収穫作業中のビニールハウスでお話を伺いました。

現在、御家族でビニールハウス30棟(総面積65a)でホウレンソウを周年で栽培、収穫量は毎月1000ケース、年間で



11000ケースを目標にしているそうです。

栽培する上で大切にしていることは、年1回夏に行うビニールハウスの土の消毒を完璧に実施することだ

そうです。隅々まで丁寧に消毒し維持することで長期安定生産を実現しています。近年、温暖化にともない暑くなる時期が早くなり、高温となってきています。

そのため真夏に発芽を一斉に揃えることは難しく、発芽後の生育も考慮し遮光率20%の資材を使って工夫しているそうです。遮光は5月中旬から9月10日まで行うが、近年は開始時期が年々早くなってきているそうです。また、かん水管理は発芽揃いと一斉収穫につながり、やり方によっては冬では収穫までに10日の差が出るそうです。

周年栽培の作業体系は年間を通して10日間で、7棟に種をまき1ヶ月間で20棟を収穫しているそうです。

各棟は長さ50mあり、1mで1ケース分のホウレンソウが収穫できるのがベストだそうです。

栽培技術の探求にとっても熱心で、生産環境の整備も素晴らしく行き届き、真にお手本となる経営を行っています。

行政区からのお知らせ

- 荒神山柴刈り:今年度も中止です。ただし、農林課に依頼した道路際フェンス沿いの草刈は終了しています。
- 公民館大掃除:12月4日(日)9:30から実施予定です。
- 防火訓練:公民館大掃除に引き続き実施予定です。



屋根の塗装が完了した公民館

第三区公民館屋根補修工事完了

昨年度より計画されていた第三区公民館屋根補修工事が、令和4年8月末に無事終了しました。

補修内容は屋根の塗装等ですが、18年ぶりに実施されたことで公民館の外観品質が大幅に向上しました。区民の皆様が気持ちよく利用できるような今後の品質維持にご協力頂ければ幸いです。

資源ゴミ回収で育成会活動資金

近年はコロナ禍で活動を自粛していた子ども育成会の資源ゴミ回収を今年度は再開しています。第2回目は11月20日(日)に開催されて、第1回目に引き続き多くの区民の皆さまにご協力いただきました。第2回目の収入金額は確定していませんので、次号でお知らせします。

第3回目は次のとおり開催予定。

- 開催日時:2023年2月19日(日)9:00~11:00
- 開催場所:三区公民館
- 内容品:新聞紙、雑誌、ダンボール、アルミ缶、スチール缶、ビール瓶、一升瓶。(瓶は茶色のみ)

さんくすがインターネットでも見られます
<https://sannkusu-kasakake.com>
 右のQRコードを読み込んで下さい



育成会日帰りバス行事に43名参加

9月3日(土)、笠懸町第三区子ども育成会主催による、記念すべき第10回目となる日帰りバス行事が行われました。

この行事開催は保護者同伴の参加形式で、学習内容を取り入れて子どもと同時に親の交流を深めることを目的としています。

近年はコロナウイルスの影響で中止していましたが、育成会の役割は子どもたちのために活動する団体であると考え、今年度はコロナ禍ということを考えて、屋外で体験できる内容を中心に再開しました。

今年度は子ども22名、大人21名の合計43名の参加があり、栃木県にある岩下の新生姜ミュージアムで生姜を使った色々なメニューを学びました。



フォレストアドベンチャーでは安全帯の講習を、みんなで真剣に受けてからアスレチックに挑戦しました(写真)。かなり高さもありましたが、みんなが無事にゴールできました。

岩舟フルーツパークでは巨峰摘み取り体験をしました。「これ大きいよ！いや、こっちが大きい」と親子や友達同士で楽しく摘み取り体験ができました。

企画した育成会役員としては、3年ぶりの日帰りバス行事でしたが、参加者から「楽しかった」との声を多く聞くことができたほか、子どもたちの笑顔も見られました。

事業所紹介(7)

株式会社テクノオリジン

自動車関連の治具及び各種省力機械を設計～NC加工による部品製作～組立を



行っている同社は、会社組織化して43年、役員・社員30名の会社です。

主な取引先は、SUBARU(株)、本田技研工業(株)他20数社です。取引先様とは随時技術研鑽を重ね、納期厳守をモットーとして高品質な製品を納入し長い間良好な関係を築いています。

昨今はコロナ禍・ウクライナ情勢・原材料の高騰といった諸問題が山積しており、自動車業界もEVへの転換という大きな過渡期を迎えています。

今後は異業種にも視野を広げて、あらゆる状況に対応しながら常に業績を上げていく強い体質を目指していくとのことです。

東小学校で稲刈り

10月13日(木)、午後2時から約2時間、笠懸東小学校近くの水田(4アール)で、5年生77名と先生、保護者、地域協力者、約20名によるモチ米苗の稲刈りと天日干し作業が行なわれました。

5年生の5・6時間目を使う総合学習の一環で、6月16日の田植えにつづいての作業でした。

鎌を使う上での注意点を確認後、生徒、保護者、地域サポーターの方たちと刈り取り作業をおこないます。

稲を結束して天日干しの鉄竿にかける作業など、段取りもよくスムーズに作業が進みました。その後残った稲は、地域協力者のバインダーで刈り取り結束され無事作業終了となりました。



稲刈りをする生徒たち

ちょっとピンぼけ

まだ残暑厳しい9月某日、長年空き家だった実家の片付けを始めた。

久々の実家は愕然とする位大量の物とゴミの山。溜息をつきながら片付け、山のようなゴミを積んで夫婦で何度も清掃センターに向かう日々。

母の死後、父は18年一人で暮らしていた。第二次大戦末期、予科練の伏龍特攻隊員として16歳で潜水突撃するはずだった父。

段ボール箱の中から見つかった祖父母宛の手紙の最後には、サウナラの文字。出撃前に終戦になり無

事生き延びた父。そのお陰で私や子ども達、孫がいる。そう思うと感謝しかない。ゴミ屋敷の辛い片付けや筋肉痛も少し楽になる。

SDGsに逆行するが「ごめんなさい」と呟きながら物を捨てる。ただ、頑張っても自分達で全て片付けるには限界がある。ジモティーやフリマもフル活用。60代の私達夫婦には不可能な大型家具家電の処分はリサイクル業者に依頼。悪戦苦闘の末、約100年分の物品の片付けがほぼ終了！父がいつも言ってくれた「ありがとう」が聞こえるような気がした。(柵)